

ケアマネジャーだより

— 介護保険の支援サービス —

今回は、ケアプランを本人及び家族の方たちと一緒に考えながら作成するところまでお話ししました。

今回は、ケアプランを実行していくためのサービス担当者会議についてお話しします。サービス担当者会議は、利用者とその家族とサービス事業者や医療関係者など利用者に関わる人達とケアマネジャーが集まって話し合います。

サービス担当者会議は、

- ① ケアプランを新規に作成したとき
- ② 要介護認定を受けている利用者が要介護更新認定を受けたとき
- ③ 要介護認定を受けている利用者が要介護状態区分の変更の認定を受けたとき

などに開催されます。

開催場所は、利用者やその家族の参加が得られやすい自宅で開かれることが多いのですが、退院前であれば病院内で行われることもあります。

サービス担当者会議では、ケアプランをもとに、利用者やその家族の希望や要望を参加者が確認し合い、それぞれの役割分担や方法、回数などについて話し合います。あらかじめ決まった議題だけでなく話し合っている中で様々な気づきが生まれることもあります。

話し合いの中で追加や修正をし、最終的に決まったことを参加者全員で確認し合い、介護サービスの実行に移していきます。

次回は、介護サービスの利用についてお話しします。

